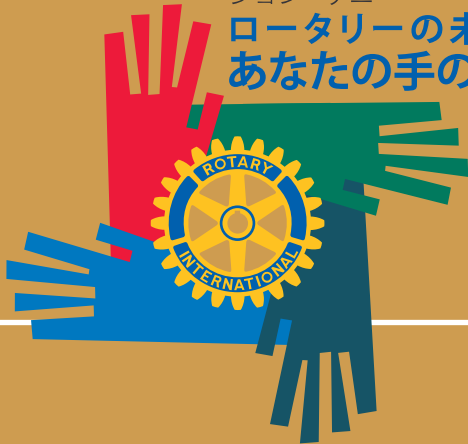


2009～2010年度 国際ロータリーのテーマ
ジョン・ケニー

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



会長／対馬健一 幹事／中出敏彦

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2009▶2010 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

親睦でクラブの活力と結束を、 そして奉仕は足もとから

プログラム

- 本日
最終夜間例会（移動例会）
- 次週予定
役員・理事就任挨拶

No. 2423

第46回 6月30日

出席報告

前例会

会員総数	44名
出免会員	4名
出免出席	0名
出席会員	26名
出席率	65.0%

前々会

第43回 6月9日

出席会員	31名
メイクアップ	2名
修正出席率	73.17%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告

- 7月27日の交通安全総決起大会開催の案内を受領しました。次年度社会奉仕委員会にお渡しします。

📞 幹事報告

- 1) 妹背牛RCより例会変更のお知らせが届いております。6月23日夜間例会のため午後6時30分、場所を紀州にて開催。

会報受領先

- 妹背牛RC 今年度No.39号～No.41号

👥 委員会報告

次年度幹事 森(俊)会員
各テーブルに会員名簿と慶祝一覧表を回します。自分の所を確認して、間違いがあれば訂正をお願いします。

📄 3分間情報

会員研修委員会 佐藤(潔)委員
「決議23-34」

手続要覧の社会奉仕の章の「社会奉仕に関する1923年の声明」として詳細に記載されています。社会奉仕活動に対する方針の決議23-34の本文は、ロータリーのバックボーンとも言うべき重要な決議で、これは1923年国際大会に34号として上程決議され、その後5回程追加補正が

行われました。その中に、ロータリーは基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情の間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は「超我の奉仕」であり、最も良く奉仕する者、「最も多く報われる」という実践理論の原点に基づくものである。

この決議の前文に記載されたロータリーの人生哲学と実践理論は最も肝要な部分で、何人もこれを書き換えることができない程の名言であり、ロータリーの精神的基盤です。その社会奉仕を実施するに際しての諸注意事項が列挙されていますが、この決議は単に社会奉仕の仕組みではなく、あらゆるロータリーの奉仕活動のあり方、基本を示したものとしてロータリー活動実践の拠り所として熟知しなければならないとされています。



ニコニコBOX

- 通常例会は本日が最後です 1年間お世話になりました 対馬会長
- 会計退任します 高田会員
- 会員研修委員長退任します 平井会員
- 会員増強委員長退任します 山本会員
- 地区大会記念誌に写真がありました 中川会員

前 回 903,000円
今 回 18,000円
累 計 921,000円



プログラム

「理事役員退任挨拶」

理事・親睦活動委員長 中川会員

本年度の会長テーマ「親睦でクラブの活力と結束を」の下、例会出席を高めようと夜間例会移動例会を7月15日の会長幹事を励ます会を始めとし、まだ最終夜間例会が残っておりますが、10回の夜間例会を実施致しました。本年度は田

中ガバナー補佐就任により、10月に3クラブ合同ガバナー公式訪問例会、今年5月にはIMも開催致しました。また、今年度はホテル神居岩で夜桜例会を初めて開催致しました。今年度は夜間例会の出席率が非常に良く、委員会もホッと致しました。しかし予算面では大変厳しく、会員皆様から千円の参加料をいただき大変申し訳なく思っております。

さて、委員会運営では強力な助っ人の渡邊副委員長を中心に委員会全員で例会運営、移動例会の準備、企画の立案をしていただきました。今年度は新会員の中に3名の女性会員がおりましたので、女性から見たアイデアも出させていただきました。親睦活動委員会のメンバーには大変感謝致しております。また、昨年に続き本年度も夜間例会の看板を高田会員さんに無償で作成していただき、お礼の言い様がございません。関連委員会では例会運営委員会、並びに社会奉仕委員会の西谷恭治会員、SAAの久木会員、補佐の遠藤会員さんには11時頃から例会の設営準備に来て設営をし、30分から40分頃には準備が終了していました。特に西谷恭治会員には大変助けていただきました。

さて、次年度の親睦活動委員長は行徳会員が委員長として引き続き活動される事になっておりますので、微力ながらお手伝いさせていただきますと思います。

最後に、まだ最終夜間例会が残っておりますがこの一年の会員皆様のご協力に感謝し、退任の挨拶と致します。

理事・社会奉仕委員長 西谷(恭)会員

振り返れば短い一年間でございましたが、皆様のご協力とご参加により、無事社会奉仕委員長の責を果たせました。社会奉仕委員会最大の行事である呑涛祭り、海水浴場クリーン作戦、ゲートボール大会、特殊学級児童への援助など、ロータリークラブの基本理念でもある「社会の人の為に何が出来るのかを全員で考えて、一つでも地域社会の為に計画を立て、実践します」をもとに会員が十分理解し、実践致しました。会員の意識の高まりを肌で実感致しましたし、

さすがロータリアンと感銘を受けました。1年間皆様から温かいご支援ご声援をいただきました事に心より感謝申し上げます。至らぬ点もあったと思いますが、この場を借りてお詫びいたします。

次年度はロータリアンとして微力ではありますが社会奉仕に努めていく所存でございます。最後に、皆様の益々のご健勝を祈り退任の挨拶といたします。

会場監督 久木会員

今年度SAAを拝命し例会の会場設営等、出来る限り汗をかくことを自らに課し、気合い？を入れスタート致しました。が、……数々の不手際、不調法、反省しきりです。

親睦活動委員会、例会運営委員会の皆様、遠藤・西谷恭治会員には格別のご協力ご指導を賜りました。心より感謝申し上げます。また、今年度ロータリー活動にご理解をいただいた会社及び取引先各位にもこの場を借りて感謝申し上げます。

以上、寿都風力発電所タワーより退任の挨拶と致します。ちなみに、歳のせいか身体のあちこちが痛いです。現場作業がハードになって参りました。

副幹事 森(俊)会員

幹事前夜の大切な一年間を中出幹事の背中を見ながら勉強させていただきました。クラブの大いなる事務方として、次年度はしっかりテンションを上げて務めて参ります。一年間大変ありがとうございます。

幹事 中出会員

昨年7月より幹事の大役を仰せつかり、仕事は何も解らず緊張の連続でした。能力不足で会員皆様には多大なご迷惑をおかけした事を心からお詫び申し上げます。立場上皆様に苦言を呈した事もありましたが、お許しを頂きたいと思っております。

予算通りに運営出来たのも高田会計、松崎副会計、長谷川副会計のご協力の賜物です。何と

かこの一年大過なく終える事が出来るのは、会員諸兄の温かい友情だと感謝申し上げます。

また、対馬会長には職務は勿論の事、幹事の職務までご協力ご指導をいただきました。ありがとうございました。

何もロータリーの事が解らず幹事を一年させていただき、少しロータリーが理解出来たと思います。最後にクラブ報告書がありますので、あと少しの会員諸兄のご協力をお願いします。

副会長 鈴木会員

副会長として何もしない一年でした。対馬会長は大変忙しい方ですので、何回かは例会の司会を務めなければならないのかなと思いましたが、代行として例会の司会は1回半務めただけで終わりました。私自身、副会長であれば何回でもやりたい気分です。皆様に再三愚痴を言いましたが、それは副会長をやると自然と会長にならなければいけないからであり、それがないのであれば大変楽なので毎年でもやっていたい位です。

今年度副会長として皆様のご希望には添えなかったかもしれませんが、会報委員会の方で頑張ったつもりです。ロータリーの友情に免じてお許してください。一年間ありがとうございました。

会長エレクト 二ノ宮会員

いよいよ今年度も残すところ一週間となり、皆さんは爽やかに退任挨拶をされていますが、私はなかなか爽やかな心境にはなれません。

2年ほど前、忘れもしない2007年11月28日の年次総会において副会長の指名を頂きました。私にとりましては驚きの指名でした。それからの2年間で登山に例えるなら、平坦な上り坂をゆっくり登ってきてやっと8合目まで到達した時の心境です。しかし残り少なくなった行く先を見ると、断崖絶壁が立ちはだかっていて恐れおののいている様な思いです。

会長エレクトとしての一年間は、次年度への準備をしなければならない一年であり、クラブ会長としての心構えをしなければならない一年

間であったのだと思いますが、今顧みしましたら会長としての心構えもなく、クラブに対して貢献をしていない一年であったと反省しております。心構えがなくても時間はどんどん経っていきます。次年度まで一週間になった今になって「何かし忘れたことがあるのではないか？」などとウロウロして森次年度幹事に迷惑を掛けています。不足な会長エレクトに心遣いを戴いた対馬会長、中出幹事そして会員各位に心からの感謝をして退任の挨拶とさせていただきます。

~~~~~

(前週の続き)

### 「ガバナー補佐を終えて」

ガバナー補佐 田中会員

一昨年の12月から始まった補佐の研修から1年半が経ちました。この間会員皆様のご協力で、ガバナー公式訪問をはじめ、GSEの受入・IM開催と留萌クラブの皆様や第1グループの各クラブのお陰で、無事終了することが出来ました。

ガバナー補佐の選考基準や、補佐として各クラブを4回以上訪問するなどの規定はありますが、当分は3年ごとに留萌クラブから選出しなければなりません。旧・第一分区9クラブの時のように、合同でIMも開催出来たなら小平クラブや妹背牛クラブからも従前のように、コ・ホストでIM開催が可能と思います。第二グループは周年行事とIMを一緒に開催するという事情がありましたが、赤平クラブの次が芦別クラブ、その次が滝川クラブですので、その時が合同開催のチャンスです。

3年後ですので留萌クラブの順番ですが、小平クラブか妹背牛クラブさんからガバナー補佐を選出する絶好の機会です。新旧ガバナー補佐会議でも同様の発言をしましたが、ガバナー月信最終号にも書く予定です。決してガバナー補佐が嫌で言っているのではなく、この1年間本当に留萌ロータリークラブの会員で良かったと、思うことが度々ありました。またたくさんクラブを訪問し、多くのロータリアンと知り合え

た事も補佐をさせていただいたからと思います。なんと言っても渡邊ガバナーと神部地区代表幹事さんの人柄で、12名の補佐は任務が終わってからも、「渡邊会」で年に数回会うことになっています。

地区目標の一つであった「そらぶちキッズ・キャンプ」につきましては、出来る範囲でこれからお手伝いをしたいと考えていました。今後、留萌クラブからガバナー補佐を選出するときには、指名された会員は喜んで引き受けていただきたいと思います。

留萌ロータリークラブで、この1年間ロータリーを一番楽しんだのは、私に間違いありません。「皆様、誠に有り難うございました。」